日野川でさけの稚魚体験放流が行われました

国土を整え、全力で備える
国土交通省
中国地方整備局
Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
Chugoku Regional Development Bureau

日野川河川事務所

平成３１年３月１１日（月）

平成３１年３月８日（金）日野川の八幡橋上流左岸側で、米子市立春日保育園と西保育園の園児合わせて３８名が参加し、さけの稚魚体験放流が行われ、２万匹余りを放流しました。
この体験放流は、日野川水系漁業協同組合が主催し、10年以上前から毎年行われています。
園児たちは「帰ってきてね～！」と元気に声をかけながら、さけの稚魚を日野川に放流しました。
佐藤組合長さんからは「4年後、日野川に帰って来られるさけは100匹に1匹程度しかいない」と説明があり、子供たちも自然の厳しさを感じたようでした。

人工授精した卵は水温10度に保たれた水槽で相次いでふ化し、越年した稚魚（体長5cm程度）を放流しました。
この後、稚魚は日本海へ降下して外海を回遊した後、４年後に体長70cm級の親ざけとなって日野川に戻ってきます。